

自殺対策を担うセンターの 今後の在り方について

資料2

- 公衆衛生学や政策科学を中心に組織を新たに構築し、自殺総合対策を住民に身近かな地域ベースで推進できる政策パッケージと、これを推進する核となる機能を充実させることが必要である。
- **現在の自殺予防総合対策センターのあり方については、批判的に総括し、新たな総合的自殺対策を推進する政策と実践を具現化するために組織・体制を一新し、新たな構想のセンターを設けるべきである。**

今後の自殺対策を担う新たなセンターを 新たな発想で立ち上げるべきである

- 精神保健中心のマインドから脱却し、社会政策としての自殺総合対策を進めるためのセンターの新たな在り方を追求することが求められる。(WHOの取組は古典的精神保健の考え方から脱却できていないことを理解すべきである)
- 健康や医療の視点を乗り越えた包括的な政策の推進と、自殺対策のPDCAサイクルの中核となるセンター機能を重視することが望まれる。